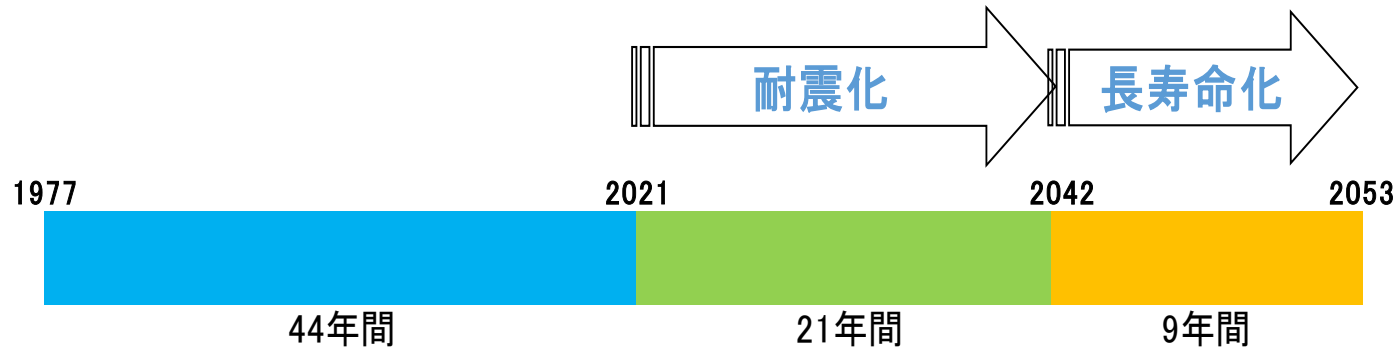


# 庁舎現状把握



※耐用年数の65年を基準として採用

## <選択肢>

- 耐震化・長寿命化を行い、本庁舎を今後30年間使用する。
- 耐震化を行わず、庁舎を積水ハウス跡地に建替える。

# 費用面の比較

	(億円)	
	耐震・長寿命化	建替(積水跡地)
事業費	-32.6	-203.6 (土地取得20.8+建替182.8)
交付金	16.8	22.6
土地売却	0	70
実質負担額	-15.8	-111
30年後…		
新庁舎建替	-162.1	0
土地売却	19.5	0
固定資産税		32.3
30年スパンで考えた負担額	-158.4	-78.7
30年後の資産価値は…		
建物の価値	162.1	91.4 (182.8 × 40/70)
土地の価値	50.5 (70-19.5)	20.8
資産-経費	54.2	33.5

○お金が80億円節約できて、庁舎も新しくなる良いことづくめの魔法のようなことは起こらない。

○交付金や固定資産税の差額を差し引いても「耐震・長寿命化」が20億円以上有利なのは、それが現庁舎の価値である。

○まだ20年以上使える庁舎を放棄することは、どれだけエネルギー効率の良い新庁舎を建てようと、エコではない！

# 耐震・長寿命化案について

この議会で可決されなければ緊防債16.8億円が使えない。しかし、これから数十年の奈良市の未来を方向付ける重要案件であり、また大規模災害が起こった時のリスクを考えると、この16.8億円だけを根拠に、思考停止のまま可決することはあり得ない。

理性的な審査と議論が必要であるが、そのために必要なデータが圧倒的に足りない。期限ありきの見切り発車で、議案としてあげる段階にないのではないか。

①そもそも、この耐震化で災害対策は十分なのか？

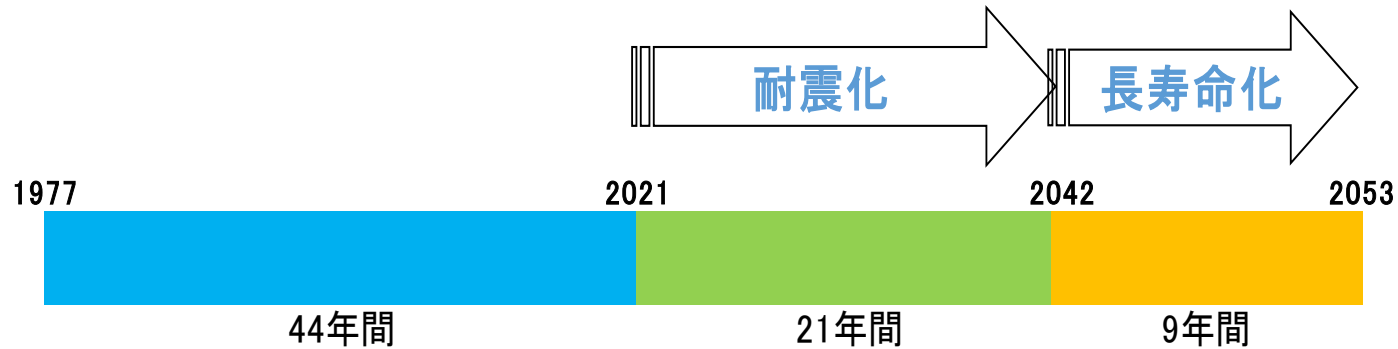
②居ながら工事は本当に可能か？

## 騒音の大きさの目安

会話が成り立つ目安	聴覚的な目安	騒音の大きさ	騒音の具体例	人の声
不可能	聴力機能に障害	120 デシベル	飛行機のエンジンの近く 近くの落雷	
		110 デシベル	自動車のクラクション（直近）	
ほとんど不可能	きわめてうるさい	100 デシベル	電車が通る時のガード下 地下鉄の構内	音楽のプロ
		90 デシベル	カラオケ音（店内中央） 犬の鳴き声（直近）	怒鳴り声
大声で0.3m以内で可能	うるさい	80 デシベル	走行中の電車内 救急車のサイレン（直近） パチンコ店内	かなり大き
大声で1m以内で可能		70 デシベル	高速走行中の自動車内 騒々しい事務所の中 セミの鳴き声（直近）	大きな声
大声で3m以内で可能	普通	60 デシベル	走行中の自動車内 普通の会話 デパート店内	普通の声
普通の声で3m以内で可能		50 デシベル	家庭用エアコンの室外機（直近） 静かな事務所の中	小さな声
普通の声で10m以内で可能	静か	40 デシベル	閑静な住宅地の屋 図書館内	ささやき声
5m先のささやき声が聞こえる		30 デシベル	深夜の郊外 鉛筆での執筆音	小さなささ
		きわめて静か	20 デシベル	木の葉の触れ合う音 雪の降る音

※上記は目安であり、その場の状況や条件等により感じ方や大きさは異なりますので、あくまでも参考としてご覧ください。

# 庁舎現状把握



※耐用年数の65年を基準として採用

## <選択肢>

- 耐震化・長寿命化を行い、本庁舎を30年間使用する。
- 耐震化を行わず、庁舎を積水ハウス跡地に建替える。
- 耐震化のみを行い、20年以内に(例えば10年を目途に)新庁舎を市民とともに考え建てる。

# 新庁舎建設を奈良市の一大イベントに！ 市民を巻き込み、10年かけてワクワクしながら計画を作る。

- ・自治会等と意見を交わすのはもちろん、ホームページなどで市民の意見を一般公募。
- ・小中学校の夏休みの宿題で「未来の市役所の風景(水彩画)」や「今の市役所のいいところ悪いところ川柳」など学年応じて様々な形式でアイデアを募集する。
- ・市民だよりやホームページ、SNS等でいただいたアイデアへのリアクションを随時行う。
- ・節電や新たなエコシステム等、市からも最新の技術を積極的に発信。



小学校のとき真剣に考え夢を膨らませた「未来の市役所」が、成人式を迎える今年、とうとう完成した！

というようなドラマがあってこそ、市民の愛着が新しい市役所に生まれ、また市民は自分も行政に参加していると実感できる。節電やバリアフリー等時代に要請される課題も市民が自ら考えデザインすることで、市民の血となり肉となる。市民とともに夢を見てワクワクできる、そんな壮大なプランを描くこともおもしろいのではないか。